

目次

日本語版への序文

はじめに

謝辞

註とこの本のデザイン

第1章

6年生の学芸会で

代理体験

テクノロジの短い寿命——これらの記録は本当に永久か？

なぜこだわるのか？

ビデオを通じた生活

1

xv v iii i

18 14 6 3

第2章

愚かなデザイン

23

アフオーダンスの話

28

マッピングの話

36

シドニーのモノレール、その悪いアフオーダンスと悪いマッピング

40

未来の罪

45

デザインの逸品

49

第3章

家庭雑誌に見るキッチン

55

4問テスト

現実のキッチンをデザインする

58

産業心理学とキッチン

60

デザインの怠慢

63

デザインのための適切な方法

65

目次

コミュニケーション&コントロール・センターとしてのキッチン

67

第4章

冷蔵庫のドアとメッセージ・センター

71

追記

86

第5章

ハイテクじかけ

89

第6章

テディー・ベア

109

テディー・ベア

それらが意味すること

モラヴェックの描くロボットの人間像

未来

129 123 115 112

第7章

正午の長さは？

正午はどう表記すべきか？

正午の長さは？

139 135

131

第8章

リアルタイム

人間の能力とリアルタイムとの関係

テクノロジーによる時間

時を告げる

心理的時間

155 152 150 146

143

第9章

自然界のパッケージ

159

進化対デザイン

デザインは進化と違うのか

進化がデザインと違う理由

われわれは過去に縛られているのか？

167

176 174 168

ウイinkerは車の表情

183

動物のシグナル

動物のウン

人工的装置と人工的進化

人と機械の作法に則ったかかわり合い

205 195 190 185

第12章

本のカバーと科学

連続科学と離散科学との違い

216

211

第13章

ブレイン・パワー

219

第14章

ホフスタッターの法則

225

第15章

百万回に1回のこと

229

コックピットのコーヒーカップ

権力を持った無口なタイプ、自動化に出現

エンジンパワーが失われたケース

燃料漏れのケース

コックピットの中の認知科学

なぜ空のコーヒーカップに認知を助けるパワーがあるのか？

チェックリスト

人に責任を負わせる——実際の問題を回避する方法

書くこととデザインすること

入会の儀式

そんなに理解しやすいのならばいたものではない

でも複雑なトピックがあるから

どちらが働くべきか、書く人が読む人か？
他人の利益のために

288 282

各章の註

訳註

監訳者あとがき

参考文献

図表一覧

索引

(1) (9) (11) 307 304 291

装幀——本山吉晴